

岩手県教職員組合カリキュラム検討委員会からの提言 「学校あるある」を見直す ⑥

今までとは違う運動会に挑戦！ やってみないと始まらない！

～私からはじめる みんなでつくろう 楽しい学校～

県内の中学校で実際にやってみた運動会の例を紹介！

- 赤白の組み分けをなくした運動会～チーム分けが必要な場合は、ねらいに合わせて～
- 50M走とリレーはタイム形式で！自分たちの以前のタイムとの比較
- 合計点数の集計なし
- 応援合戦なし。ただし、高学年は「よさこい」を練習し、自分たちの学校、地域を元気にするためにエールを送りたいと目標達成型のフェスティバル的な構成で！
- 午前中のみの短縮開催でも、自分たちでチャンスレースや団体種目の内容を考える、子どもの意見をたくさん取り入れた運動会
- 綱引きは、綱を4本にして実施。誰が、どの綱のどの位置で引っ張るのかは、子どもたちの作戦会議で決定



運動会ではありませんが、ちなみにこんな中学校も！

- 体育祭が無期限延期となり、全校生徒が、ボッチャとシッティングバレー、ゴールボール、吹き矢のパラスポーツを楽しむ組団マッチを開催



「これまで通り」を取り戻そうと躍起になるよりも、一度リセットしてみることも必要です。本当に必要なことや大切にしたいことが見えてくることがあります。そこに気付いて、立ち返れば、「慣例通り」や「横並び主義」に惑わされることなく、やるべきことがはっきりしてくるかもしれません。

そこからは、教職員の合意形成づくり！今までとは違う学校生活の中、教職員も管理職もみんなが困っています。学校としての合意形成ができる大きなチャンス！です。もちろん、困っているのは、子どもたちも同様です。子どもたちの思いを大切に聞き取って、どう教育課程の中に生かしていくのかで、「世界でたった一つのわたしたちの学校」につながっていくのではないかでしょうか。